

クローズアップ  
今を生きる 人がそが宝  
第19回

除雪の達人 藤村 信夫 (ふじむら のぶお) さん

25年間除雪をとおして街をみつづけて

これまでの道のり

和寒町で生まれ、和寒小学校、和寒中学校、和寒高校を卒業後、車に興味があり、力仕事が好きだった藤村さんは、両親が経営していた現和寒自動車運輸株式会社に入社しました。

その後、昭和59年に経営を受け継ぎ今日に至っています。

除雪の仕事のはじまり

昭和59年に会社を継いだ藤村さんは、冬場の仕事を探していました。当時は、冬場の仕事が少ない、何かできることはないかと考えていました。そんな時、大通の除雪の話があり、年間契約で除雪の仕事を引き受けることとなりました。これまでも時々除雪の仕事は行っていました。

年間をとおして除雪の仕事をやるようになったのはこの頃からです。

除雪の仕事について

除雪の仕事については、以前から他の仕事でショベルを運転していた藤村さんには、技術面での心配はなく始めることができました。

しかし、キャリアの長い藤村さんも雪がある程度積もってくると路面の段差がなくなり作業しやすくなるのですが、雪の降り始めの時期は、路面の段差があることで、歩道の縁石やマンホールの蓋を傷つけてしまうこともあり、細心の注意をしながら作業を進めています。

また、道路の舗装や歩道のバリアフリーなど街なみが変わって行く中で、昔なら除雪していかなかった建物のすぐ傍など現在ではきれいに除雪できるようなったことで、作業する側としては大変になったそうです。

現在では、冬場も和寒町の

特産である「越冬きゃべつ」の運送の仕事で会社は忙しく、社員は、その仕事に追われています。除雪の仕事は、社長である藤村さんが1人でやっている状況です。特に今年の冬は、雪が多く出勤回数も多かったのですが、とても大変だったそうです。

作業も雪が降った時だけということもあり、なかなか社員に頼むこともできない状況で、後継者がいないのが藤村さんの悩みとなっています。

今年で25年

昭和59年から始めた除雪の仕事も今年で25年が経過しました。この25年間除雪を通して和寒町の大通りを見てきた藤村さんは「最近では、大通りの店も少なくなり、空き地もできて少し寂しくなってきましたが、元気な活気ある街になるよう除雪をとおしてこれからも頑張っていきたい」と、笑顔で話してくれました。



藤村 信夫さん [和寒自動車運輸] 63歳  
和寒町字東町 TEL32-2145  
出身：和寒町字東町  
経歴：1958年 和寒小学校卒業 1961年 和寒中学校卒業  
1970年 和寒高等学校卒業 1970年 和寒自動車運輸(株)入社  
1984年 和寒自動車運輸(株) 代表取締役社長就任  
趣味：TV鑑賞など